

令和2年度 地域未来塾 活動事例一覧

市町名	教室数	教室名	対象学校名	主な実施場所	委託	委託団体名
彦根市	17	放課後学習会	東中学校	東中学校	○	東中学校区 支援地域協議会
		学力補充教室	西中学校	西中学校	○	西中学校区 支援地域協議会
		放課後バックアップ教室	城西小学校	城西小学校	○	西中学校区 支援地域協議会
		地域の方による学習支援	城北小学校	城北小学校	○	西中学校区 支援地域協議会
		土曜教室 てみる	中央中学校	中央中学校	○	中央中学校区 支援地域協議会
		学び育ちLL教室	中央中学校	中地区公民館	○	中央中学校区 支援地域協議会
		水曜ゼミ	南中学校	南中学校	○	南中学校区 支援地域協議会
		がってん教室	城南小学校	城南小学校	○	南中学校区 支援地域協議会
		夏休み前算数教室	城陽小学校	城陽小学校	○	南中学校区 支援地域協議会
		夏休み学習教室	亀山小学校	亀山小学校	○	南中学校区 支援地域協議会
		彦根中地域未来塾	彦根中学校	彦根中学校	○	彦根中学校区 支援地域協議会
		学力補充教室	鳥居本中学校	鳥居本中学校	○	鳥居本中学校区 支援地域協議会
		学力補充教室	鳥居本小学校	鳥居本小学校	○	鳥居本中学校区 支援地域協議会
		未来塾	稲枝中学校	稲枝中学校	○	稲枝中学校区 支援地域協議会
		かがやき教室	稲枝東小学校	稲枝東小学校	○	稲枝中学校区 支援地域協議会
		はえみ サマースクール ホップタイム	稲枝西小学校	稲枝西小学校	○	稲枝中学校区 支援地域協議会
		「ぐんぐんクラブ」	稲枝北小学校	稲枝北小学校	○	稲枝中学校区 支援地域協議会
湖南市	3	放課後質問教室	石部中学校	石部中学校		
		放課後学習会 放課後日本語教室	甲西中学校	甲西中学校		
		日枝中未来塾 外国籍生徒日本語教室、3年進路支援	日枝中学校	日枝中学校		
米原市	5	いつ今教室	大東中学校	大東中学校		
		放課後学習会 夏休み・冬休み全校学習会	伊吹山中学校	伊吹山中学校		
		小論文対策講座				
		米原学習教室 (MGK)	米原中学校	米原中学校		
		土曜学習会	河南中学校	河南中学校		
日野町	1	ちょこっと学習会 (地域未来塾)	日野中学校	日野中学校		
竜王町	1	土曜龍王塾 (雲竜塾、昇竜塾)	竜王中学校	竜王中学校		
多賀町	2	土曜講座 (サタスタ)	多賀中学校	多賀中学校	○	株式会社 ケイ・エム・ ジーコーポレーション
		放課後児童見守り (学びっこタイム)	大滝小学校	大滝小学校		

子どもたちのやる気を応援！！

彦根市	活動名： 放課後学習会	東中学校	学校運営協議会： <input type="checkbox"/> 有 <input checked="" type="checkbox"/> 無
主な活動場所： 図書室・理科室ほか	開始年度： 平成26年度	年間開催日数： 27日（開催ペース：週1日）	地域学校協働活動推進員等数： 1人（兼務0人）
平均参加人数： 15人	学習支援員等 平均人数： 5人	学習形態： <input checked="" type="checkbox"/> 個別の学力補充 <input type="checkbox"/> 教材を使った一斉学習 <input type="checkbox"/> その他（ ）	
・教室の持ち方： <input checked="" type="checkbox"/> 平日放課後実施 <input type="checkbox"/> 土曜日実施 <input type="checkbox"/> 長期休業日実施 <input type="checkbox"/> その他（ ）		・学習支援員等の属性： <input type="checkbox"/> 企業関係者 <input type="checkbox"/> 行政職員 <input checked="" type="checkbox"/> 元教職員 <input checked="" type="checkbox"/> 地域住民 <input checked="" type="checkbox"/> 大学生 <input type="checkbox"/> NPO等関係者 <input type="checkbox"/> その他	

■ 活動の概要と目的

放課後の時間を利用して、生徒たちが自主的に学習できる場を提供。基礎でつまづいている生徒には、学習支援ボランティアが寄り添い学力を向上させる。地域の人とつながる場をつくる。

■ 特徴的な学習支援内容

学習教科は自由。生徒が決めたことをやり遂げられるような支援を心がけている。

■ 参加者の募集や事業実施に当たっての工夫（コロナ禍における工夫・対応等）

「東中学校区地域学校協働本部」が主体となり、学校と相談しながら運営。「自分が決める」という生徒の自主性を尊重し、成績に関係なく、参加するという意識のある生徒の参加を受け入れ、欠席する場合は連絡があれば尊重し引き留めない。当日の昼休みには、放送で学習会のお知らせをし、申込者以外の参加も受け入れている。学習時間が長い（1時間半）ので、1時間経つ頃に気分転換をはかっている。個別の学習ファイルを作成し、学習終了後に、生徒に、学習の振り返りやボランティアへの連絡・メッセージ等を記入してもらい、ボランティアとの交流に活用している。

コロナ感染予防のため、生徒・ボランティアともにマスクの着用を徹底。座席の取り方、換気等に配慮。感染拡大時は3年生を優先して開催するようにした。

■ 事業の成果

「自分が決める」を大切にしているので、参加する生徒は、まじめに主体的に取り組んでいる。長年支援してくださっているボランティアが多いので、個々の生徒への配慮も細やかで、生徒との関係も良く、良い雰囲気の中で学習会ができています。不登校の生徒が参加するなど（別室対応）、学校では対応しにくい生徒も支援することができた。

■ 事業実施上の課題と今後の学習支援活動に向けて

学力や家庭環境など、本当に支援が必要な生徒が参加しやすいような学習会にするため、担任をはじめ教職員との連携や情報共有をこころがけたい。

報告書記入者（ 教頭 ）



【 学習会の様子 】

未来のために！「来たれ未来塾！」

彦根市	活動名： 学力補充教室	西中学校	学校運営協議会： <input checked="" type="checkbox"/> 有 <input type="checkbox"/> 無
主な活動場所： 本校被服室・理科室	開始年度： 平成26年度	年間開催日数： 32日（開催ペース：週1日）	地域学校協働活動推進員等数： 1人（兼務1人）
平均参加人数： 25人	学習支援員等 平均人数： 6人	学習形態： <input checked="" type="checkbox"/> 個別の学力補充 <input type="checkbox"/> 教材を使った一斉学習 <input type="checkbox"/> その他（ ）	
・教室の持ち方： <input checked="" type="checkbox"/> 平日放課後実施 <input type="checkbox"/> 土曜日実施 <input checked="" type="checkbox"/> 長期休業日実施 <input type="checkbox"/> その他（ ）		・学習支援員等の属性： <input type="checkbox"/> 企業関係者 <input type="checkbox"/> 行政職員 <input checked="" type="checkbox"/> 元教職員 <input checked="" type="checkbox"/> 地域住民 <input checked="" type="checkbox"/> 大学生 <input type="checkbox"/> NPO等関係者 <input type="checkbox"/> その他	

■ 活動の概要と目的

学力補充を目的とした学習教室の開催。放課後の時間帯や夏季休業中の時間を活用して学習支援員が学習指導を行った。

■ 特徴的な学習支援内容

休業中に、今までに学習した内容の復習や十分理解できていないところの補習を行うことにより、基礎学力の定着と学力補充を行う。

受験を目前に控え、希望進路の実現に向けて学力の向上を目指す。

■ 参加者の募集や事業実施に当たっての工夫（コロナ禍における工夫・対応等）

- ・全学年、希望者を募って実施した。
- ・飛沫感染防止用の衝立を使用して支援した。
- ・指導前には、学習支援員の検温と消毒を行った。

■ 事業の成果

- ・生徒に自分の弱点を把握させ、その克服に向けて反復学習をして学力の定着を図った。
- ・一人ひとりの生徒の実態に応じた個別の学習支援を実施した。
- ・生徒が地域住民や地域の大学生と交流することで地域への所属意識が持てた。

■ 事業実施上の課題と今後の学習支援活動に向けて

・新型コロナウイルス感染症拡大のため、学習支援員を確保することが難しかった。

■ その他

・さらに学習支援員を増員したい。

報告書記入者（ 教頭 ）



【 学習会の様子 】

基礎・基本の定着をねらいとした学習支援

彦根市	活動名： 放課後バックアップ教室	城西小学校	学校運営協議会： <input type="checkbox"/> 有 <input checked="" type="checkbox"/> 無
主な活動場所：	教室	開始年度：	平成31年度
年間開催日数：	18日（開催ペース：週1日）	地域学校協働活動推進員等数：	1人（兼務0人）
平均参加人数：	18人	学習支援員等 平均人数：	3人
・学習形態	： <input checked="" type="checkbox"/> 個別の学力補充 <input type="checkbox"/> 教材を使った一斉学習 <input type="checkbox"/> その他（ ）		
・教室の持ち方	： <input checked="" type="checkbox"/> 平日放課後実施 <input type="checkbox"/> 土曜日実施 <input type="checkbox"/> 長期休業日実施 <input type="checkbox"/> その他（ ）		
・学習支援員等の属性	： <input type="checkbox"/> 企業関係者 <input type="checkbox"/> 行政職員 <input checked="" type="checkbox"/> 元教職員 <input checked="" type="checkbox"/> 地域住民 <input type="checkbox"/> 大学生 <input type="checkbox"/> NPO等関係者 <input type="checkbox"/> その他		

■ 活動の概要と目的

算数科を中心に、基礎・基本の定着に向け個別指導を主とした教室を、4～6年生の希望者を対象に年間通して18回開催した。

■ 特徴的な学習支援内容

プリントやドリルの内容を基礎・基本を中心とするとともに、個に応じて選択ができるように用意し、個別指導を主とした学習支援ができるようにした。

■ 参加者の募集や事業実施に当たっての工夫（コロナ禍における工夫・対応等）

下校時、確実に保護者が迎えに来られるかどうかを確認し、迎えが可能な児童のみ参加することとした。

■ 事業の成果

地域の方々 individually に丁寧に指導していただいたことで「分かった！」という思いを強く持つことができた。

■ 事業実施上の課題と今後の学習支援活動に向けて

より充実した指導となるよう、多くの学習支援員の確保が急務となる。



【 4年生 放課後バックアップ教室 】

報告書記入者（ 地域連携担当教員 ）

地域の方による学習支援

彦根市	活動名： 地域の方による学習支援	城北小学校	学校運営協議会： <input checked="" type="checkbox"/> 有 <input type="checkbox"/> 無
主な活動場所：	学校教室	開始年度：	平成31年度
年間開催日数：	46日（開催ペース：週2日）	地域学校協働活動推進員等数：	1人（兼務0人）
平均参加人数：	30人	学習支援員等 平均人数：	4人
・学習形態	： <input checked="" type="checkbox"/> 個別の学力補充 <input type="checkbox"/> 教材を使った一斉学習 <input type="checkbox"/> その他（ ）		
・教室の持ち方	： <input type="checkbox"/> 平日放課後実施 <input type="checkbox"/> 土曜日実施 <input type="checkbox"/> 長期休業日実施 <input checked="" type="checkbox"/> その他（ 授業前の帯の時間等 ）		
・学習支援員等の属性	： <input type="checkbox"/> 企業関係者 <input type="checkbox"/> 行政職員 <input type="checkbox"/> 元教職員 <input checked="" type="checkbox"/> 地域住民 <input checked="" type="checkbox"/> 大学生 <input type="checkbox"/> NPO等関係者 <input type="checkbox"/> その他		

■ 活動の概要と目的

教員志望の大学生や地域住民により、個々の学力向上を図ることを目的とした学習支援を行った。

■ 特徴的な学習支援内容

- ・教員志望の大学生が、教科学習に苦手意識のある子どもに寄り添いながら個別指導を行った。
- ・英語に堪能な地域住民が、一人ひとりの子どもに向き合いながら英語によるコミュニケーションを図った。

■ 参加者の募集や事業実施に当たっての工夫

本年度は、コロナ禍での取組のため、地域住民の協力体制を積極的に進めることが困難であったことから、将来教員を目指している大学生の協力を呼びかけ、学校で実施している対策に基づいて学習支援を行った。

■ 事業の成果

児童からは「分からなかったところが分かってうれしい」「できなかったことができてスッキリした」という声が聞かれた。教員からは、「普段時間をかけることができなかった児童にじっくりと教えることができてよかった」という声が聞かれた。このようなことから、学力補充に関して一定の効果があったと考えている。

■ 事業実施上の課題と今後の学習支援活動に向けて

学習に関するボランティアを担っていただける人材は地域住民の元教員が多かったが、コロナ禍でも協力が得られるように、今後も教員を目指している大学生等への参加呼びかけを進めていきたい。

報告書記入者（ 学校運営協議会担当 ）

来てみる・やってみる 「土曜教室 てみる」

彦根市	活動名： 土曜教室 てみる	中央中学校	学校運営協議会： <input type="checkbox"/> 有 <input checked="" type="checkbox"/> 無
主な活動場所：	理科室	開始年度：	平成 26 年度
年間開催日数：	15 日（開催ペース：週・月 2 日）	地域学校協働活動推進員等数：	1 人（兼務 0 人）
平均参加人数：	20 人	学習支援員等 平均人数：	12 人
・学習形態	： <input checked="" type="checkbox"/> 個別の学力補充 <input type="checkbox"/> 教材を使った一斉学習 <input type="checkbox"/> その他（ ）		
・教室の持ち方	： <input type="checkbox"/> 平日放課後実施 <input checked="" type="checkbox"/> 土曜日実施 <input type="checkbox"/> 長期休業日実施 <input type="checkbox"/> その他（ ）		
・学習支援員等の属性	： <input checked="" type="checkbox"/> 企業関係者 <input type="checkbox"/> 行政職員 <input checked="" type="checkbox"/> 元教職員 <input checked="" type="checkbox"/> 地域住民 <input checked="" type="checkbox"/> 大学生 <input checked="" type="checkbox"/> NPO 等関係者 <input type="checkbox"/> その他		

■ 活動の概要と目的

子どもたちへの学習補助はもちろん学習支援員等との対話を通じて、学びへの動機付けや将来なりたい姿を見つけることをねらいとしている。

■ 特徴的な学習支援内容

1対1または子ども2人に指導者1人とし、学習支援員やボランティアとの関係づくりを大切に、学習の動機付けとなるように、子どものやる気を尊重した学びの場をつくっている。支援員やボランティアとの対話や学習後の交流を楽しみにしている子どもも多い。2時間程度の学習であるが、学習の休憩時間を交流の時間として設定し、支援員と子どもたちとの交流の機会を設けている。毎回のしめくくりの時間に子どもに活動の振り返りをさせて、ここでの学びが他の活動や時間に広がるようにしている。



【 感染対策を講じた上での実施 】

■ 参加者の募集や事業実施に当たっての工夫（コロナ禍における工夫・対応等）

全校生徒に案内を配布し、希望を募っている。部活動や各種検定の時間と重ならないように配慮して行っている。感染予防対策として健康確認と入退室時の手指消毒を行い、マスクをつけて学習するとともに教室にパーティションを設置している。毎回、実施後に学習支援員、学校関係者で集約会議を行い、子どもの関わり方の質の向上につなげている。

■ 事業の成果

個別指導により、つまづきを的確に把握しながら学習支援を行い、基礎学力の定着を図ることができている。また、週末に学習に集中し充実した時間を過ごすことができることから、学習意欲の向上や学習方法の定着にもつながっている。

■ 事業実施上の課題と今後の学習支援活動に向けて

学習支援員やサポーターの確保、企画・運営ができる地域コーディネーターの確保が必須である。

報告書記入者（ 教頭 ）

子どもの自主的な学びと育ちを支える地域の居場所づくり

彦根市	活動名： 学び育ちLL教室	中央中学校	学校運営協議会： <input type="checkbox"/> 有 <input checked="" type="checkbox"/> 無
主な活動場所：	中地区公民館	開始年度：	平成 24 年度
年間開催日数：	40 日（開催ペース：週 1 日、月 4 回）	地域学校協働活動推進員等数：	1 人（兼務 0 人）
平均参加人数：	13 人	学習支援員等 平均人数：	10 人
・学習形態	： <input checked="" type="checkbox"/> 個別の学力補充 <input type="checkbox"/> 教材を使った一斉学習 <input type="checkbox"/> その他（ ）		
・教室の持ち方	： <input checked="" type="checkbox"/> 平日放課後実施 <input type="checkbox"/> 土曜日実施 <input type="checkbox"/> 長期休業日実施 <input type="checkbox"/> その他（ ）		
・学習支援員等の属性	： <input checked="" type="checkbox"/> 企業関係者 <input type="checkbox"/> 行政職員 <input checked="" type="checkbox"/> 元教職員 <input checked="" type="checkbox"/> 地域住民 <input checked="" type="checkbox"/> 大学生 <input checked="" type="checkbox"/> NPO 等関係者 <input type="checkbox"/> その他		

■ 活動の概要と目的

毎週月曜日の夜に地域の公民館にて開催。自主的な学びへの動機付けや将来なりたい姿を見つけることをねらいとしている。学習の補充を行い、自信をもたせる。

■ 特徴的な学習支援内容

マンツーマン対応で学習支援員やボランティアとの関係づくりを大切に、子どものやる気を尊重した学びの場をつくっている。固定した時間割は定めず、子どもの状況に応じて、人間関係づくりの向上を目指して、交流を目的とした活動を取り入れている。

■ 参加者の募集や事業実施に当たっての工夫（コロナ禍における工夫・対応等）

中央中学校の土曜教室と同時期に全校生徒に案内を配布。また、活動状況はフェイスブックで発信していることから、近隣学区の子どもたちの参加もある。

感染予防対策として健康確認と入退室時の手指消毒を行い、マスクを着用して学習し、教室内では間隔をとって行っている。

■ 事業の成果

子ども個人のモチベーションにあわせた学習を進めることで主体的に取り組む習慣ができてきている。また不登校傾向や配慮を要する子どもも参加し、気分転換や自分を見つめる時間になり、地域での居場所づくりになっている。

■ 事業実施上の課題と今後の学習支援活動に向けて

ボランティアの確保や数年ごとの教科書変更に対応した教材の整備と教材の保管場所の確保が課題である。

報告書記入者（ 教頭 ）



【 LL教室の様子 】

放課後学習「水曜ゼミ」

彦根市	活動名： 水曜ゼミ	南中学校	学校運営協議会： <input type="checkbox"/> 有 <input checked="" type="checkbox"/> 無
主な活動場所： 図書室	開始年度： 平成26年度	年間開催日数： 14日（開催ペース：週1日）	地域学校協働活動推進員等数： 1人（兼務1人）
平均参加人数： 20人	学習支援員等 平均人数： 3人	学習形態： <input checked="" type="checkbox"/> 個別の学力補充 <input type="checkbox"/> 教材を使った一斉学習 <input type="checkbox"/> その他（ ）	
・教室の持ち方： <input checked="" type="checkbox"/> 平日放課後実施 <input type="checkbox"/> 土曜日実施 <input type="checkbox"/> 長期休業日実施 <input type="checkbox"/> その他（ ）		・学習支援員等の属性： <input type="checkbox"/> 企業関係者 <input type="checkbox"/> 行政職員 <input type="checkbox"/> 元教職員 <input checked="" type="checkbox"/> 地域住民 <input checked="" type="checkbox"/> 大学生 <input type="checkbox"/> NPO等関係者 <input type="checkbox"/> その他	

■ 活動の概要と目的

- 放課後学習「水曜ゼミ」(10～2月)は、3年生を対象に進路実現に向けて基礎的な学力を身につけるために、プリントを使って学習している。
- 例年実施している夏休み補充教室は、今年度は実施していない。

■ 特徴的な学習支援内容

学習支援員は、教員や地域の住民、大学生が中心となり、個別の学習支援にあたっている。水曜ゼミの学習教材としては、県立入試問題集や国語・数学・英語の基本的な内容のプリントを準備して、個に応じた学習に取り組めるようにしている。

■ 参加者の募集や事業実施に当たっての工夫（コロナ禍における工夫・対応等）

水曜ゼミは受験を控えた3年生で、特に基礎学力の強化が必要と思われる生徒を対象に実施している。地域コーディネーターが活動を紹介したボランティア便りを作成し学習支援員の確保にあたっている。

■ 事業の成果

家庭では一人で学習できない生徒の学習の場となり、学習支援員に積極的に質問するなど意欲的に取り組んでいる。

■ 事業実施上の課題と今後の学習支援活動に向けて

参加生徒に対して学習支援員の人数が少ない日もあり、安定した人材確保が必要である。校区にある大学と連携して学習支援員が確保できる体制にしていきたい。



【 水曜ゼミ 】

報告書記入者（ 教頭 ）

「わかった」「できた」子どもの笑顔のために

彦根市	活動名： がってん教室	城南小学校	学校運営協議会： <input type="checkbox"/> 有 <input checked="" type="checkbox"/> 無
主な活動場所： 教室	開始年度： 平成31年度	年間開催日数： 3日（開催ペース：年3日）	地域学校協働活動推進員等数： 1人（兼務1人）
平均参加人数： 120人	学習支援員等 平均人数： 6人	学習形態： <input checked="" type="checkbox"/> 個別の学力補充 <input type="checkbox"/> 教材を使った一斉学習 <input type="checkbox"/> その他（ ）	
・教室の持ち方： <input type="checkbox"/> 平日放課後実施 <input type="checkbox"/> 土曜日実施 <input checked="" type="checkbox"/> 長期休業日実施 <input type="checkbox"/> その他（ ）		・学習支援員等の属性： <input type="checkbox"/> 企業関係者 <input type="checkbox"/> 行政職員 <input checked="" type="checkbox"/> 元教職員 <input type="checkbox"/> 地域住民 <input checked="" type="checkbox"/> 大学生 <input type="checkbox"/> NPO等関係者 <input type="checkbox"/> その他	

■ 活動の概要と目的

・夏季休業中の3日間を設定し、1日2時間、1学期の学習内容を中心とした学力補充を行う。

■ 特徴的な学習支援内容

・個々の児童の課題や児童が高めたいと考える力に合った学習内容を選択できるようにしている。発達段階に応じて、前半は、同一課題をもとに基礎的な学力の定着を図り、後半は、個々の選択した課題に対する支援をする形で実施する学年もある。

■ 参加者の募集や事業実施に当たっての工夫（コロナ禍における工夫・対応等）

・開催要項を全家庭に配布し、目的や取組方法等を担任から児童へ説明した上で、希望者を募る。コロナ対応として、課題別やグループ学習を行わず、自教室の自分の座席での学習とした。

・参加児童の検温と記録をするとともに、学習後は机、椅子等を消毒した。

■ 事業の成果

・コロナ禍ではあったが、例年と同程度の参加者数であった。普段の学習以上に、教師や支援員に気軽に質問する児童の姿が見られ、課題を克服でき、満足そうな姿が多く見られた。また、今年は特に担任が指導の中心であったので、個々の学習状況を十分把握した上での指導ができたことが指導する側としても成果であった。

■ 事業実施上の課題と今後の学習支援活動に向けて

・コロナ対応として個別学習が中心となったので、個々に十分に対応できる、指導する側の人員確保が一番の課題である。感染の拡大状況によっては、外部の方の支援をどこまで求められるか、支援を受けられるか、随時検討して対応する必要がある。

報告書記入者（ 地域連携担当教員 ）

つなげよう 子どもを育む 地域の力 ～地域の力で学びを深める～

彦根市	活動名： 夏休み前算数教室	城陽小学校	学校運営協議会： <input type="checkbox"/> 有 <input checked="" type="checkbox"/> 無
主な活動場所：	各教室	開始年度：	平成31年度
年間開催日数：	3日	地域学校協働活動推進員等数：	1人（兼務1人）
平均参加人数：	120人	学習支援員等 平均人数：	8人
・学習形態	： <input checked="" type="checkbox"/> 個別の学力補充 <input type="checkbox"/> 教材を使った一斉学習 <input type="checkbox"/> その他（ ）		
・教室の持ち方	： <input checked="" type="checkbox"/> 平日放課後実施 <input type="checkbox"/> 土曜日実施 <input type="checkbox"/> 長期休業日実施 <input type="checkbox"/> その他（ ）		
・学習支援員等の属性	： <input type="checkbox"/> 企業関係者 <input type="checkbox"/> 行政職員 <input checked="" type="checkbox"/> 元教職員 <input type="checkbox"/> 地域住民 <input checked="" type="checkbox"/> 大学生 <input type="checkbox"/> NPO等関係者 <input checked="" type="checkbox"/> その他		

■ 活動の概要と目的

昨年度までは、夏季休業中に実施していたが、今年度は午前中の授業を終え、午後の時間を利用しての3日間（7月20日（月）・21日（火）・22日（水））とし、いずれも13:00から14:25までの実施とした。算数科を中心に、個別の学力補充を目的とした。

■ 特徴的な学習支援内容

保護者からの希望または、担任より個別指導が望ましいと考える児童の参加を中心として進めることができた。つまずきや戸惑いには、個別にスモールステップによる支援を行うことができた。

■ 参加者の募集や事業実施に当たっての工夫（コロナ禍における工夫・対応等）

保護者あてに希望者を募る、または、個別指導が望ましいと考えられる児童に参加を促す

声かけをすることで参加を呼びかけた。支援員として、学区内の滋賀県立大学の学生、本校の卒業生、そして元教員に呼びかけをして、たくさんの方の支援を得ることができた。コロナ対策として、マスクを着用することや、密にならないようオープンスペース等を利用して実施した。

■ 事業の成果

基礎、基本の積み上げが不十分な児童にとって、個別対応の支援は心強く、また反復や発展の演習問題を示されることで、自身のつまずきに対して意欲的に向き合い学習をすすめることができた。

■ 事業実施上の課題と今後の学習支援活動に向けて

たくさんの方の参加者に対応できるように、支援いただける支援員の確保に努めたい。また、新たな活動を計画するために、様々な教科や領域の地域ボランティアの発掘をしていきたい。



【 算数学力補充教室 】

報告書記入者（ 教頭 ）

夏休み学習教室～基礎・基本の学力の定着を目指して～

彦根市	活動名： 夏休み学習教室	亀山小学校	学校運営協議会： <input type="checkbox"/> 有 <input checked="" type="checkbox"/> 無
主な活動場所：	教室	開始年度：	令和2年度
年間開催日数：	3日（開催ペース：夏季休業中）	地域学校協働活動推進員等数：	1人（兼務0人）
平均参加人数：	100人	学習支援員等 平均人数：	3人
・学習形態	： <input checked="" type="checkbox"/> 個別の学力補充 <input checked="" type="checkbox"/> 教材を使った一斉学習 <input type="checkbox"/> その他（ ）		
・教室の持ち方	： <input type="checkbox"/> 平日放課後実施 <input type="checkbox"/> 土曜日実施 <input checked="" type="checkbox"/> 長期休業日実施 <input type="checkbox"/> その他（ ）		
・学習支援員等の属性	： <input type="checkbox"/> 企業関係者 <input type="checkbox"/> 行政職員 <input checked="" type="checkbox"/> 元教職員 <input checked="" type="checkbox"/> 地域住民 <input type="checkbox"/> 大学生 <input type="checkbox"/> NPO等関係者 <input type="checkbox"/> その他		

■ 活動の概要と目的

・夏季休業中の3日間（8月3日・4日・5日）、いずれも8:20から11:00まで実施した。

・基礎・基本の学力の定着を目的としている。

■ 特徴的な学習支援内容

・昨年度まではプリントやドリル等を使った自習形態であったが、ほとんどの児童が参加する状況であるため、教科書やノートを使用した通常の授業形態もあわせて行うこととした。

■ 参加者の募集や事業実施に当たっての工夫（コロナ禍における工夫・対応等）

・今年度は特に「長期にわたっての臨時休業により欠けた学習機会を確保するため実施します」と参加を呼びかけた。

・コロナ禍の状況なので、外部の方の来校はできるかぎり控え、支援員は少人数にした。

■ 事業の成果

・それぞれの教室に担任以外の教員（支援員）がいることで、個別指導をしたりプリントの採点をしたりして、効果的に学習を進めることができた。

■ 事業実施上の課題と今後の学習支援活動に向けて

・次年度は、状況により、地域に広く声をかけて学習支援員を確保し、よりきめ細かな支援ができるようにしたい。



【 夏休み学習教室の様子 】

報告書記入者（ 教頭 ）

学びを育む学習会

彦根市	活動名：彦根中地域未来塾	彦根中学校	学校運営協議会： <input type="checkbox"/> 有 <input checked="" type="checkbox"/> 無
主な活動場所：被服室	年間開催日数：40日（開催ペース：10月以降週2回、夏季休業）	開始年度：平成28年度	地域学校協働活動推進員等数：1人（兼務0人）
平均参加人数：10人	学習形態： <input checked="" type="checkbox"/> 個別の学力補充 <input type="checkbox"/> 教材を使った一斉学習 <input type="checkbox"/> その他（ ）	学習支援員等 平均人数：4人	
・教室の持ち方： <input checked="" type="checkbox"/> 平日放課後実施 <input type="checkbox"/> 土曜日実施 <input checked="" type="checkbox"/> 長期休業日実施 <input type="checkbox"/> その他（ ）	・学習支援員等の属性： <input type="checkbox"/> 企業関係者 <input type="checkbox"/> 行政職員 <input checked="" type="checkbox"/> 元教職員 <input checked="" type="checkbox"/> 地域住民 <input checked="" type="checkbox"/> 大学生 <input type="checkbox"/> NPO等関係者 <input type="checkbox"/> その他		

■ 活動の概要と目的

毎日の授業だけでは、十分に学力が定着しない生徒も多く、基礎学力の定着のためには、学力補充が必要となる。しかし、一人では家庭学習に取り組みなかつたり、何を学習してよいのかわからなかつたりする生徒も多い実情があるため、地域の方々や大学生等の協力を得て、一人ひとりの学力に応じた学習を個別の対応で進め、学習習慣と学力の定着を図る。



【 3年生放課後学習会 】

■ 特徴的な学習支援内容

* 夏季休業中の補充学習および質問教室

全学年の生徒の自主学習に対する支援を、学習支援員と教員の数名で行っている。

* 3年生の放課後学習会

10月から毎週火曜日・木曜日を基本にして、生徒が特参する学習教材のわからない問題や、数学と英語等の基礎定着プリントに対する支援を、学習支援員と教員が数名程度で行っている。

■ 参加者の募集や事業実施に当たっての工夫（コロナ禍における工夫・対応等）

* マスクの着用と使用する教室には消毒液の設置と使用後の消毒作業を実施している。

* 学習支援員を確保するため、募集ポスターとチラシを製作し、近隣の大学に配布した。

■ 事業の成果

* 家庭学習に取り組みない生徒が、学習支援員に積極的に質問するなど、短時間ではあるが学習にまじめに、意欲的に取り組んでいた。

■ 事業実施上の課題と今後の学習支援活動に向けて

* 学校の立地条件から、学生の学習支援員が集まらず、確保が難しい現状にある。

* 支援の回数が事業費によって左右され、十分な学習機会を設定することが難しい。

■ その他

・活動状況は、本校HPにて掲載している。<https://www.fureai-cloud.jp/hikone-jh-hikone/>

報告書記入者（ 教頭 ）

地域と学校を結ぶ鳥居本地域未来塾

彦根市	活動名：学力補充教室	鳥居本中学校	学校運営協議会： <input type="checkbox"/> 有 <input checked="" type="checkbox"/> 無
主な活動場所：教室	年間開催日数：10日（開催ペース：1学期6～7月、2学期11～12月）	開始年度：平成26年度	地域学校協働活動推進員等数：1人（兼務0人）
平均参加人数：5人	学習形態： <input checked="" type="checkbox"/> 個別の学力補充 <input type="checkbox"/> 教材を使った一斉学習 <input type="checkbox"/> その他（ ）	学習支援員等 平均人数：2人	
・教室の持ち方： <input checked="" type="checkbox"/> 平日放課後実施 <input type="checkbox"/> 土曜日実施 <input type="checkbox"/> 長期休業日実施 <input type="checkbox"/> その他（ ）	・学習支援員等の属性： <input type="checkbox"/> 企業関係者 <input type="checkbox"/> 行政職員 <input type="checkbox"/> 元教職員 <input checked="" type="checkbox"/> 地域住民 <input type="checkbox"/> 大学生 <input type="checkbox"/> NPO等関係者 <input checked="" type="checkbox"/> その他		

■ 活動の概要と目的

生徒の学力補充を目的として放課後の学習支援を実施。

■ 特徴的な学習支援内容

基礎的な問題や分からない問題を中心に、個別に学習支援をしている。

■ 参加者の募集や事業実施に当たっての工夫（コロナ禍における工夫・対応等）

新型コロナウイルス感染症の感染拡大防止のため、学校が長期の臨時休業となったため、学校が再開された6月から、学習面で不安のある生徒を対象にして実施した。

■ 事業の成果

個別対応を中心にしたので、生徒からは「わかりやすかった」と好評であった。

■ 事業実施上の課題と今後の学習支援活動に向けて

昨年度までは、長期休業期間に実施してきたが、今年度は中学校再開後、放課後の時間が比較的に長かったので、平日に実施できた。今後は、平日の放課後に定期的に実施していけるとよい。

学習支援をしてくださる地域の方をどのように集めるかが課題である。

報告書記入者（ 地域連携担当教員 ）

輝く笑顔 一人ひとりの「わかった！」をめざして

彦根市	活動名： 学力補充教室	鳥居本小学校	学校運営協議会： <input type="checkbox"/> 有 <input checked="" type="checkbox"/> 無
主な活動場所：	教室	開始年度：	令和2年度
年間開催日数：	18日（開催ペース：月3日）	地域学校協働活動推進員等数：	1人（兼務0人）
平均参加人数：	15人	学習支援員等 平均人数：	1人
・学習形態	<input checked="" type="checkbox"/> 個別の学力補充 <input type="checkbox"/> 教材を使った一斉学習 <input type="checkbox"/> その他（ ）		
・教室の持ち方	<input checked="" type="checkbox"/> 平日放課後実施 <input type="checkbox"/> 土曜日実施 <input type="checkbox"/> 長期休業日実施 <input type="checkbox"/> その他（ ）		
・学習支援員等の属性：	<input type="checkbox"/> 企業関係者 <input type="checkbox"/> 行政職員 <input checked="" type="checkbox"/> 元教職員 <input checked="" type="checkbox"/> 地域住民 <input type="checkbox"/> 大学生 <input type="checkbox"/> NPO等関係者 <input type="checkbox"/> その他		

- 活動の概要と目的

国語科・算数科を中心に、少人数で個別指導を実施し、基礎基本の学習内容の定着を図る。
- 特徴的な学習支援内容

基礎基本の内容に特化した内容の補充指導や問題演習を行う。間違いやつまずきには、個別に対応し、「わかった」を実感できるように支援する。
- 参加者の募集や事業実施に当たっての工夫（コロナ禍における工夫・対応等）

会場となる教室の消毒や換気、室内温度等をこまめに確認し、感染症の拡大防止に努めた。
- 事業の成果

国語科・算数科にとどまらず学習そのものに苦手意識をもつ子どもがいるので、「わかった」「できた」が実感できるような課題設定を心がけた。その結果、一つ一つ学習を積み上げることの大切さに目を向けることができるようになってきた。
- 事業実施上の課題と今後の学習支援活動に向けて

日課を工夫して放課後の時間を生み出すようにしてきたが、高学年では、学力補充のための時間を確保することが難しかった。特に、感染症の影響で、長期休業中に補充教室を実施できなかったのが残念だった。

報告書記入者（ 教頭 ）

本当にわかったと生徒が感じる学習サポート

彦根市	活動名： 未来塾	稲枝中学校	学校運営協議会： <input type="checkbox"/> 有 <input checked="" type="checkbox"/> 無
主な活動場所：	多目的教室、図書室	開始年度：	平成28年度
年間開催日数：	34日（8月以降 週1回 月5回）	地域学校協働活動推進員等数：	2人（兼務0人）
平均参加人数：	15人	学習支援員等 平均人数：	3人
・学習形態	<input checked="" type="checkbox"/> 個別の学力補充 <input type="checkbox"/> 教材を使った一斉学習 <input type="checkbox"/> その他（ ）		
・教室の持ち方	<input checked="" type="checkbox"/> 平日放課後実施 <input type="checkbox"/> 土曜日実施 <input checked="" type="checkbox"/> 長期休業日実施 <input checked="" type="checkbox"/> その他（ ）		
・学習支援員等の属性：	<input type="checkbox"/> 企業関係者 <input type="checkbox"/> 行政職員 <input checked="" type="checkbox"/> 元教職員 <input checked="" type="checkbox"/> 地域住民 <input type="checkbox"/> 大学生 <input type="checkbox"/> NPO等関係者 <input type="checkbox"/> その他		

- 活動の概要と目的
 - ・目的 自ら学ぼうと意欲のある生徒への学習支援を行い、学力向上を図る。
- 特徴的な学習支援内容
 - ・夏休み、9月から2月までの毎週水曜日、保護者懇談会の期間に実施。3年生を対象に高校入試に向けた学習支援。
- 参加者の募集や事業実施に当たっての工夫
 - ・生徒の募集→3年生の生徒及び保護者に、質問教室の趣旨を説明して募集。
3年生対象の高校入試に向けた質問教室は、希望者はもとより、学習塾に通っていない生徒や教師から見て受験対策を必要とする生徒に勧める。
当初の応募人数が31名と多数であったので、密を避けるため2班編制とした。
- 事業の成果
 - ・参加者が、質問教室に「来てよかった、わかった」と感じている。
 - ・個別に丁寧に指導してもらい「わかった」という思いを持ち、自信を深めることにつながった。
- 事業実施上の課題と今後の学習支援活動に向けて
 - ・学習支援員の発掘が大変であり、ボランティアに頼るだけでは、継続は難しいと考える。
 - ・学校と地域コーディネーターの打合せが重要である。

報告書記入者（ 地域コーディネーター ）

子どもたちの学びを豊かにする地域支援活動

彦根市	活動名： かがやき教室	稲枝東小学校	学校運営協議会： <input type="checkbox"/> 有 <input checked="" type="checkbox"/> 無
主な活動場所：	教室	開始年度：	平成30年度
年間開催日数：	22日（開催ペース：月2回）	地域学校協働活動推進員等数：	1人（兼務0人）
平均参加人数：	18人	学習支援員等 平均人数：	4人
・学習形態	： <input checked="" type="checkbox"/> 個別の学力補充 <input type="checkbox"/> 教材を使った一斉学習 <input type="checkbox"/> その他（ ）		
・教室の持ち方	： <input checked="" type="checkbox"/> 平日放課後実施 <input type="checkbox"/> 土曜日実施 <input type="checkbox"/> 長期休業日実施 <input type="checkbox"/> その他（ ）		
・学習支援員等の属性：	<input type="checkbox"/> 企業関係者 <input type="checkbox"/> 行政職員 <input checked="" type="checkbox"/> 元教職員 <input type="checkbox"/> 地域住民 <input type="checkbox"/> 大学生 <input type="checkbox"/> NPO等関係者 <input type="checkbox"/> その他		

■ 活動の概要と目的

2・3年生の児童を対象に、月に2～3回程度の学力補充の時間を計画した。

■ 特徴的な学習支援内容

児童がつまづきを感じている学習内容を選び、個別指導の形式で学習支援をした。

■ 参加者の募集や事業実施に当たっての工夫（コロナ禍における工夫・対応等）

学期ごとに希望者を募った。密を避けるため、また、個に応じて充実した指導ができるように、参加する人数には制限をかけた。感染症対策として、着席する席をできるだけ離し、手指消毒やマスク着用の徹底を図った。学習支援員は検温を実施した。



【 学習支援の様子 】

■ 事業の成果

漢字や計算など基礎的な力を高めることで学ぶ意欲を向上させることができた。

■ 事業実施上の課題と今後の学習支援活動に向けて

学習支援員は経験豊富な元教員の方ばかりのため、学習支援活動自体の課題は特に無い。今後も事業が継続し、子どもたちの学力補充ができるように希望する。

報告書記入者（ 地域連携担当教員 ）

わくわく はえみ学習

彦根市	活動名： はえみ サマースクール ホップタイム	稲枝西小学校	学校運営協議会： <input type="checkbox"/> 有 <input checked="" type="checkbox"/> 無
主な活動場所：	各教室	開始年度：	平成30年度
年間開催日数：	8日（開催ペース：夏休み3日、月1日（ホップ））	地域学校協働活動推進員等数：	1人（兼務0人）
平均参加人数：	18人	学習支援員等 平均人数：	7人
・学習形態	： <input checked="" type="checkbox"/> 個別の学力補充 <input type="checkbox"/> 教材を使った一斉学習 <input checked="" type="checkbox"/> その他（ グループ学習 ）		
・教室の持ち方	： <input checked="" type="checkbox"/> 平日放課後実施 <input type="checkbox"/> 土曜日実施 <input checked="" type="checkbox"/> 長期休業日実施 <input type="checkbox"/> その他（ ）		
・学習支援員等の属性：	<input type="checkbox"/> 企業関係者 <input type="checkbox"/> 行政職員 <input checked="" type="checkbox"/> 元教職員 <input type="checkbox"/> 地域住民 <input type="checkbox"/> 大学生 <input type="checkbox"/> NPO等関係者 <input type="checkbox"/> その他		

■ 活動の概要と目的

- ・学習内容の理解に課題を要する子どもの学力補充。
- ・確かな学力の定着をめざすグループ学習。

■ 特徴的な学習支援内容

・ホップタイムについては、高学年の実施とし、学年を2グループに分け実施した。課題については、3つの難易度のプリントを作成し、自分の力量にあった問題を解きながら進めていった。

■ 参加者の募集や事業実施に当たっての工夫（コロナ禍における工夫・対応等）

・「はえみ サマースクール」については、毎年希望者を募って実施していたが、希望者が多数になることが予想されたため、今年度は学年3人程度の参加とした。



【 ホップタイム 】

■ 事業の成果

・ホップタイムの児童アンケートでは、少人数で行うこの学習で、「分からない所が分かるようになった」「学習が楽しくなった」と答える児童が増えた。また、支援員が子ども2～3人に1人付くため、分からない所があるとすぐに支援に入れるため、全員が課題をやり残すことなく学習することができた。

■ 事業実施上の課題と今後の学習支援活動に向けて

・長期休業中は登下校の安全確保が難しく、この取組に参加できない児童が出てくるのが課題である。

報告書記入者（ 地域連携担当教員 ）

わかる楽しさを味わい、学ぶ意欲を高める「ぐんぐんクラブ」

彦根市	活動名： 「ぐんぐんクラブ」	稲枝北小学校	学校運営協議会： <input type="checkbox"/> 有 <input checked="" type="checkbox"/> 無
主な活動場所：	教室	開始年度：	平成 28 年度
年間開催日数：	40 日（開催ペース：週 2 日）	地域学校協働活動推進員等数：	1 人（兼務 0 人）
平均参加人数：	5 人	学習支援員等 平均人数：	2 人
・学習形態	： <input checked="" type="checkbox"/> 個別の学力補充 <input type="checkbox"/> 教材を使った一斉学習 <input type="checkbox"/> その他（ ）		
・教室の持ち方	： <input checked="" type="checkbox"/> 平日放課後実施 <input type="checkbox"/> 土曜日実施 <input type="checkbox"/> 長期休業日実施 <input type="checkbox"/> その他（ ）		
・学習支援員等の属性	： <input type="checkbox"/> 企業関係者 <input type="checkbox"/> 行政職員 <input checked="" type="checkbox"/> 元教職員 <input type="checkbox"/> 地域住民 <input type="checkbox"/> 大学生 <input type="checkbox"/> NPO 等関係者 <input type="checkbox"/> その他		

- 活動の概要と目的
少人数の個別指導のような学習で、「わかる」楽しさを味わい、自信をつけ学習への意欲を高められるようにする。
- 特徴的な学習支援内容
課業日の月曜日（1～3年生）水曜日（4～6年生）、学期ごとに参加児童を募集し、定員を8名程度までとして学習支援ボランティアによる指導を行う。算数を中心に宿題をしたり、担任が個に応じた課題（プリント等）を準備したりし、個別の進度で学習を進める。
- 参加者の募集や事業実施に当たっての工夫（コロナ禍における工夫・対応等）
全校児童に募集をし、希望者の中から個別指導を要する児童が参加できるようにしている。また、個別指導が有効と思われる児童へは事前に保護者に呼びかけ、参加を促している。希望者が多数の場合は、支援を必要とする児童に絞り、4～7名と少人数で実施している。感染症対策として、前年度まで使っていた狭い部屋ではなく、通常の教室において、常時換気しながら、密にならないように席を離して実施している。
- 事業の成果
集団での学習では身につけにくい児童への個別の支援が充実し、大変効果があった。学習に苦手意識のある児童にとって、わからないことをその場ですぐに聞いたり、やり直したりできることで、「わかった」という実感をもちやすい。また、個別に苦手な分野に絞って復習等に取り組むことで理解が進み、児童の学習意欲も高まった。
- 事業実施上の課題と今後の学習支援活動に向けて
支援の必要な児童が参加を希望しない場合があり、声のかけ方に工夫が必要である。効果があることを知らせ、児童へ声をかけると共に、懇談会などを通して保護者に直接声をかけていきたい。課題の準備が間に合わないことがあったため、担任との連携を密にしていく必要がある。

報告書記入者（ 教頭 ）

学習習慣の定着を目指すための放課後学習

湖南省	活動名： 放課後質問教室	石部中学校	学校運営協議会： <input checked="" type="checkbox"/> 有 <input type="checkbox"/> 無
主な活動場所：	普通教室	開始年度：	平成 28 年度
年間開催日数：	75 日（開催ペース：週 2～3 日）	地域学校協働活動推進員等数：	1 人（兼務 0 人）
平均参加人数：	15 人	学習支援員等 平均人数：	3 人
・学習形態	： <input checked="" type="checkbox"/> 個別の学力補充 <input type="checkbox"/> 教材を使った一斉学習 <input type="checkbox"/> その他（ ）		
・教室の持ち方	： <input checked="" type="checkbox"/> 平日放課後実施 <input type="checkbox"/> 土曜日実施 <input checked="" type="checkbox"/> 長期休業日実施 <input type="checkbox"/> その他（ ）		
・学習支援員等の属性	： <input type="checkbox"/> 企業関係者 <input type="checkbox"/> 行政職員 <input type="checkbox"/> 元教職員 <input checked="" type="checkbox"/> 地域住民 <input type="checkbox"/> 大学生 <input type="checkbox"/> NPO 等関係者 <input checked="" type="checkbox"/> その他		

- 活動の概要と目的
・家庭での学習がうまく進まない生徒に放課後の教室を使い、予習や復習をすることで学習習慣の定着をめざす。
- 特徴的な学習支援内容
・テスト前の学習でのわからないことを教える。
・学校の宿題のわからないところを支援する。
・実技教科の遅れている作業を援助する。
・授業内容が理解できていない部分を再度教える。
- 参加者の募集や事業実施に当たっての工夫（コロナ禍における工夫・対応等）
・手洗い、検温、マスク着用など基本的な感染症対策を実施。
・人数が多いときは、教室を分け、密を避ける。
- 事業の成果
・参加者が徐々に増加してきた。
・意欲的に学習に取り組む姿が多く見られた。
- 事業実施上の課題と今後の学習支援活動に向けて
・支援する人材の確保
・冬季は、6時間授業を行うとほとんど放課後の時間がない。
・学年が上がるにつれ、学習内容が難しく専門の教科以外は教えることが難しい面もある。



【 学習会の様子 】

報告書記入者（ 校長 ）

あせらず・あわてず・あきらめず ～自分の未来を切り拓こう～

湖南省	活動名： 放課後学習会 放課後日本語教室	甲西中学校	学校運営協議会： <input type="checkbox"/> 有 <input checked="" type="checkbox"/> 無
主な活動場所：	甲西中学校	開始年度：	平成26年度
年間開催日数：	57日（開催ペース：週2日）	地域学校協働活動推進員等数：	2人（兼務0人）
平均参加人数：	15人	学習支援員等 平均人数：	3人
・学習形態	： <input checked="" type="checkbox"/> 個別の学力補充 <input checked="" type="checkbox"/> 教材を使った一斉学習 <input type="checkbox"/> その他（ ）		
・教室の持ち方	： <input checked="" type="checkbox"/> 平日放課後実施 <input type="checkbox"/> 土曜日実施 <input type="checkbox"/> 長期休業日実施 <input type="checkbox"/> その他（ ）		
・学習支援員等の属性	： <input type="checkbox"/> 企業関係者 <input type="checkbox"/> 行政職員 <input checked="" type="checkbox"/> 元教職員 <input checked="" type="checkbox"/> 地域住民 <input type="checkbox"/> 大学生 <input type="checkbox"/> NPO等関係者 <input type="checkbox"/> その他		

■ 活動の概要と目的

《放課後学習会》 本校の生徒の課題として、家庭学習がほとんどできていないことが挙げられる。家庭での学習環境が整っていないことも考えられるが学習方法がわからないことも要因である。そこで、地域の方や元教員などに学習ボランティアとして支援していただき、自主的・主体的な学習習慣を身につけるため、進路実現に向けて9月から放課後週2回1時間実施している。

《放課後日本語教室》 日本語習得がまだ十分でない外国籍生徒にとって授業だけで教科の学習を十分に理解することは非常に難しい。特に国語は漢字や文法など丁寧に教える必要がある。放課後にワークやプリントを中心に少人数でできるだけ個別に支援を行った。テスト前にも集中講座を行った。



【 学習の様子 】

■ 特徴的な学習支援内容

・毎回5教科の中でテーマを設けて（例：数学「因数分解」）、プリントを使用して学習に取り組んだ。また3年生については過去の入試問題にチャレンジした。

■ 参加者の募集や事業実施に当たっての工夫（コロナ禍における工夫・対応等）

・参加者が多い時には図書室など広い会場を使用して密にならないようにした。

■ 事業の成果

・その場だけでなく家に持ち帰って学習の続きをするなど、家庭での学習習慣につながっている。

■ 事業実施上の課題と今後の学習支援活動に向けて

・学力に課題やしんどさのある生徒にもっと参加してもらいたい。そういった生徒への参加を促す配慮のある声かけを行う。

報告書記入者（ 地域学校協働活動推進員・教頭 ）

未来に羽ばたく子どもたちへのサポート 外国籍生徒への日本語教室、3年生進路支援

湖南省	活動名： 日枝中未来塾 外国籍生徒日本語教室、3年進路支援	日枝中学校	学校運営協議会： <input checked="" type="checkbox"/> 有 <input type="checkbox"/> 無
主な活動場所：	日本語教室	開始年度：	平成29年度
年間開催日数：	12日（開催ペース：月1日と休業中）	地域学校協働活動推進員等数：	6人（兼務3人）
平均参加人数：	10人	学習支援員等 平均人数：	3人
・学習形態	： <input checked="" type="checkbox"/> 個別の学力補充 <input type="checkbox"/> 教材を使った一斉学習 <input type="checkbox"/> その他（ ）		
・教室の持ち方	： <input type="checkbox"/> 平日放課後実施 <input type="checkbox"/> 土曜日実施 <input checked="" type="checkbox"/> 長期休業日実施 <input type="checkbox"/> その他（ ）		
・学習支援員等の属性	： <input type="checkbox"/> 企業関係者 <input type="checkbox"/> 行政職員 <input checked="" type="checkbox"/> 元教職員 <input type="checkbox"/> 地域住民 <input type="checkbox"/> 大学生 <input type="checkbox"/> NPO等関係者 <input checked="" type="checkbox"/> その他		

■ 活動の概要と目的

学力の保障や学校生活の安定のために、日本語の支援が必要な生徒に対して、学校支援員や地域のボランティアさんの支援のもと日本語学習会、進路支援を実施する。

■ 特徴的な学習支援内容

外国籍生徒が年を追うごとに増えている本校では、通訳機等を活用して、子どもたちの学習支援を行い、生活の安定と進路支援を行っている。

■ 参加者の募集や事業実施に当たっての工夫（コロナ禍における工夫・対応等）

希望参加ではあるが、三者懇談会や通訳を介し、生徒の状況を話し合い、参加を促進している。また、長期休業期間に実施することで、学習リズムの維持を図っている。

コロナウィルス感染拡大防止策として参加者全員に体温の計測、入室時のアルコール消毒を徹底。

■ 事業の成果

ボランティア、支援員の丁寧で、個別的な支援による取り組みの結果、生徒の学習意欲の向上や、進路に対する前向きな姿勢がみられる。

■ 事業実施上の課題と今後の学習支援活動に向けて

ここ数年継続的に取り組んでおり、毎年一定数の参加者もあり成果が出てきている。長期休業中に一定期間実施するためにボランティアさんを含む指導者の人員確保が不可欠である。

また、コロナ禍における設備機器や教室内の消毒における人員確保や、生徒たちだけでなく支援員の感染拡大防止策を実施するにあたり、学習会運営の財政的な基盤整備が必要である。



【 日本語教室での学習 】

報告書記入者（ 地域学校協働活動推進員、教頭 ）

学力補充「いつやるの、今でしょう！」

米原市	活動名： いつ今教室	大東中学校	学校運営協議会： <input checked="" type="checkbox"/> 有 <input type="checkbox"/> 無
主な活動場所：	多目的教室・図書室他	開始年度：	平成25年度
年間開催日数：	20日	地域学校協働活動推進員等数：	1人（兼務0人）
平均参加人数：	15人	学習支援員等 平均人数：	4人
・学習形態	： <input checked="" type="checkbox"/> 個別の学力補充 <input type="checkbox"/> 教材を使った一斉学習 <input type="checkbox"/> その他（ ）		
・教室の持ち方	： <input checked="" type="checkbox"/> 平日放課後実施 <input type="checkbox"/> 土曜日実施 <input type="checkbox"/> 長期休業日実施 <input type="checkbox"/> その他（ ）		
・学習支援員等の属性	： <input type="checkbox"/> 企業関係者 <input type="checkbox"/> 行政職員 <input checked="" type="checkbox"/> 元教職員 <input checked="" type="checkbox"/> 地域住民 <input type="checkbox"/> 大学生 <input type="checkbox"/> NPO等関係者 <input type="checkbox"/> その他		

■ 活動の概要と目的

概要：定期テスト前や長期休業中、3年生の入試前の時期に学力補充教室やテスト対策教室を実施する。

目的：低学力生徒の基礎学力定着

自宅で、一人で家庭学習に取り組むことが難しい生徒への支援

希望進路実現に向けて、弱点補強に取り組もうとする生徒への支援

■ 特徴的な学習支援内容

・参加希望を募っての実施

・課題プリントを作成した個別指導

■ 参加者の募集や事業実施に当たっての工夫（コロナ禍における工夫・対応等）

・参加募集のチラシを作成しての呼びかけ

■ 事業の成果

・生徒からは「分かりやすく教えてもらえた」という感想が多い。

・保護者からの継続実施を望む声が多い。

■ 事業実施上の課題と今後の学習支援活動に向けて

・学習支援員の確保と日程調整

報告書記入者（校長）

放課後学習会 & 夏休み全校学習会 & 冬休み全校学習会

米原市	活動名： 放課後学習会 夏休み・冬休み全校学習会	伊吹山中学校	学校運営協議会： <input checked="" type="checkbox"/> 有 <input type="checkbox"/> 無
主な活動場所：	本校ランチルーム 他	開始年度：	平成30年度
年間開催日数：	放課後15日 夏休み3日 冬休み1日	地域学校協働活動推進員等数：	1人
平均参加人数：	50人	学習支援員等 平均人数：	5人
・学習形態	： <input checked="" type="checkbox"/> 個別の学力補充 <input type="checkbox"/> 教材を使った一斉学習 <input type="checkbox"/> その他（ ）		
・教室の持ち方	： <input checked="" type="checkbox"/> 平日放課後実施 <input type="checkbox"/> 土曜日実施 <input checked="" type="checkbox"/> 長期休業日実施 <input type="checkbox"/> その他（ ）		
・学習支援員等の属性	： <input type="checkbox"/> 企業関係者 <input type="checkbox"/> 行政職員 <input checked="" type="checkbox"/> 元教職員 <input checked="" type="checkbox"/> 地域住民 <input checked="" type="checkbox"/> 大学生 <input type="checkbox"/> NPO等関係者 <input type="checkbox"/> その他		

■ 活動の概要と目的

長期休業や定期テスト前の放課後を利用して、生徒一人ひとりが、自分の習熟度や自分のペースに応じて学習を進めることで、基礎的・基本的な知識を習得する。さらに授業で学んだ内容や課題にじっくり取り組んだり、個別に質問できる場として開催した。

■ 特徴的な学習支援内容

複数の学習支援員が生徒の要望に応じて支援できる体制をとることができるようにした。今年度は新型コロナウイルス感染症対策を行いながら実施した。

■ 参加者の募集や事業実施に当たっての工夫

学習内容や課題等は、各生徒が自分で予定を立てて準備し、自由に質問ができるような形態をとっており、多くの生徒が参加を希望し、学習を進めることができている。

部活動に配慮して、長期休業中は、部活動のない午後に実施した。

■ 事業の成果

長期休業中や、部活動停止期間となる定期テスト前に実施したことで、生徒にとっては充実した学習習慣を継続させることができた。また、自分の習熟度に応じて各教科の学習を進めることができるため、目標が立てやすく、十分に理解できるまで学習に取り組むことができた。さらに、できるだけ多くの学習支援員を招聘することで、多様な生徒の学習支援が可能になった。

■ 事業実施上の課題と今後の学習支援活動に向けて

生徒のニーズに応じるようにするため、学習支援員の確保に努め、今後も個別の学習指導・支援ができる体制づくりを進めていく必要がある。

報告書記入者（教頭）



【 山中サマー・スクール 】

小論文対策講座

米原市	活動名： 小論文対策講座	伊吹山中学校	学校運営協議会： <input checked="" type="checkbox"/> 有 <input type="checkbox"/> 無
主な活動場所： 本校 IT 教室	開始年度： 令和元年度	年間開催日数： 3日	地域学校協働活動推進員等数： 0人
平均参加人数： 13人	学習支援員等 平均人数： 1人	学習形態： <input checked="" type="checkbox"/> 個別の学力補充 <input checked="" type="checkbox"/> 教材を使った一斉学習 <input type="checkbox"/> その他 ()	
・教室の持ち方： <input checked="" type="checkbox"/> 平日放課後実施 <input type="checkbox"/> 土曜日実施 <input checked="" type="checkbox"/> 長期休業日実施 <input type="checkbox"/> その他 ()		・学習支援員等の属性： <input type="checkbox"/> 企業関係者 <input type="checkbox"/> 行政職員 <input checked="" type="checkbox"/> 元教職員 <input checked="" type="checkbox"/> 地域住民 <input type="checkbox"/> 大学生 <input type="checkbox"/> NPO 等関係者 <input type="checkbox"/> その他	

■ 活動の概要と目的

本校3年生の生徒を対象に、本県県立高等学校特色選抜や推薦選抜での入学検査で課される小論文に対応するため、地域住民であり、元高等学校教員でもある講師を招聘し、「小論文対策講座」を実施した。

■ 特徴的な学習支援内容

生徒は、本県県立高等学校のこれまでの小論文の問題を課題にして、本番さながらに挑戦するとともに、学習支援員を務める講師が一人ひとりの小論文を添削することで、自分の小論文を見直し、課題を改善できるように支援内容を工夫した。

■ 参加者の募集や事業実施に当たっての工夫

自分の希望する進路に応じて、3年生に講座参加の希望を募った。広い特別教室を会場とし、感染予防に努めた。

■ 事業の成果

保護者や生徒からも、「実施して欲しい。」との声があり、地域のニーズに合っている。生徒一人ひとりが複数の小論文の課題に取り組み、また、講師により個別に添削を行うことで、自分の小論文を見直し、課題を改善できるようになり、充実した講座となっている。

■ 事業実施上の課題と今後の学習支援活動に向けて

小論文の添削に時間がかかり、勤務時間外にかけて添削していただかなければならない課題が生じたため、人材を増やすなど工夫する必要がある。



【 小論文対策講座 】

報告書記入者（ 教頭 ）

学校と地域の力により、子どもの学びを支えていく

米原市	活動名： 米原学習教室 (MGK)	米原中学校	学校運営協議会： <input checked="" type="checkbox"/> 有 <input type="checkbox"/> 無
主な活動場所： 米原中学校	開始年度： 平成29年度	年間開催日数： 70日 (8月1週目5日間、10月以降月平均10日開講)	地域学校協働活動推進員等数： 2人 (兼務0人)
平均参加人数： 13人	学習支援員等 平均人数： 1~2人	学習形態： <input checked="" type="checkbox"/> 個別の学力補充 <input checked="" type="checkbox"/> 教材を使った一斉学習 <input type="checkbox"/> その他 ()	
・教室の持ち方： <input checked="" type="checkbox"/> 平日放課後実施 <input type="checkbox"/> 土曜日実施 <input checked="" type="checkbox"/> 長期休業日実施 <input type="checkbox"/> その他 ()		・学習支援員等の属性： <input type="checkbox"/> 企業関係者 <input type="checkbox"/> 行政職員 <input checked="" type="checkbox"/> 元教職員 <input checked="" type="checkbox"/> 地域住民 <input type="checkbox"/> 大学生 <input type="checkbox"/> NPO 等関係者 <input checked="" type="checkbox"/> その他	

■ 活動の概要と目的

コロナ禍の中、授業の進度が例年より早く、また、学習の不安を抱える生徒も多い中、長期休業中に低学力の生徒を中心に学習支援を行った。3年生は2学期から放課後の時間を活用し、5教科(国語・社会・数学・理科・英語)の講座を開催した。3学期は入試の小論文講座を1月に4回開催した。

■ 特徴的な学習支援内容

今年度は、短い夏季休業であったが、8月の第1週に1~3年の全学年、生徒が課題を持参し、元教員と地域ボランティアが個別指導を行った。3年生は10月より入試に向けた5教科の講座を開講した。1月には入試の小論文対策として元国語教員が指導にあたった。

■ 参加者の募集や事業実施に当たっての工夫 (コロナ禍における工夫・対応等)

全保護者あてに、案内を出した。課題の多い生徒は直接声をかけた。夏季学習について、参加生徒が多い場合は指導教室を2教室にした。

■ 事業の成果

一人では課題に取りくめない生徒も、提出することができた。3年生については講座を選択することにより、苦手教科の克服につながった。また、入試を意識した学習を2学期から行うことができた。

■ 事業実施上の課題と今後の学習支援活動に向けて

今年度は、退職教員の豊かな経験を活用した学校教育活動支援事業で任用された教員OBに指導を依頼し、生徒の学習意欲も向上した。

報告書記入者（ 教頭 ）

笑顔いっぱい・学びいっぱい活動 ～自ら学ぼうとする生徒への学習機会の場の設定～

米原市	活動名： 土曜学習会	河南中学校	学校運営協議会： <input checked="" type="checkbox"/> 有 <input type="checkbox"/> 無
主な活動場所：	河南中学校	開始年度：	平成 29 年度
年間開催日数：	12 日（開催ペース：月 2 日）	地域学校協働活動推進員等数：	0 人（兼務 0 人）
平均参加人数：	11.7 人	学習支援員等 平均人数：	2 人
・学習形態	： <input checked="" type="checkbox"/> 個別の学力補充 <input type="checkbox"/> 教材を使った一斉学習 <input type="checkbox"/> その他（ ）		
・教室の持ち方	： <input type="checkbox"/> 平日放課後実施 <input checked="" type="checkbox"/> 土曜日実施 <input type="checkbox"/> 長期休業日実施 <input type="checkbox"/> その他（ ）		
・学習支援員等の属性	： <input type="checkbox"/> 企業関係者 <input type="checkbox"/> 行政職員 <input type="checkbox"/> 元教職員 <input type="checkbox"/> 地域住民 <input checked="" type="checkbox"/> 大学生 <input type="checkbox"/> NPO 等関係者 <input type="checkbox"/> その他		

■ 活動の概要と目的

月 2 回土曜日の午前中に開催し、自主的に学ぼうとする生徒のために、その場を提供して、生徒の学びの基礎を育てる。

■ 特徴的な学習支援内容

本校を卒業した大学生を講師に招き、自主的に学習を進める上でわからないところをすぐに質問できる体制にした。

■ 参加者の募集や事業実施に当たっての工夫（コロナ禍における工夫・対応等）

保護者あてに開講予定を事前に知らせて、生徒の都合のつく時刻に参加できるようにした。部活動練習後に参加する生徒も多くいた。

■ 事業の成果

家庭では集中できず家庭学習が進まない生徒も、土曜学習会に参加して頑張っている生徒に感化されて、集中して学習に取り組むことができた。また、わからないところをすぐに講師の大学生に質問することができて、理解を深めることができた。

■ 事業実施上の課題と今後の学習支援活動に向けて

講師の大学生の都合もあり、開催日を決定することに苦慮した。定期テスト前には多くの生徒が参加することから、今後も学習する場の提供は必要と強く感じた。

■ その他

土曜学習会を開催する前日には保護者あてにメール配信をして周知した。



【 土曜学習会の様子 】

報告書記入者（ 教頭 ）

気軽に学ぼう、気軽に尋ねよう、ちょこっと学習会

日野町	活動名： ちょこっと学習会	日野中学校	学校運営協議会： <input type="checkbox"/> 有 <input checked="" type="checkbox"/> 無
主な活動場所：	各教室	開始年度：	平成 30 年度
年間開催日数：	13 日（開催ペース：定期テスト前など）	地域学校協働活動推進員等数：	1 人（兼務 1 人）
平均参加人数：	6 人	学習支援員等 平均人数：	8 人
・学習形態	： <input checked="" type="checkbox"/> 個別の学力補充 <input type="checkbox"/> 教材を使った一斉学習 <input type="checkbox"/> その他（ ）		
・教室の持ち方	： <input checked="" type="checkbox"/> 平日放課後実施 <input type="checkbox"/> 土曜日実施 <input type="checkbox"/> 長期休業日実施 <input type="checkbox"/> その他（ ）		
・学習支援員等の属性	： <input type="checkbox"/> 企業関係者 <input type="checkbox"/> 行政職員 <input type="checkbox"/> 元教職員 <input type="checkbox"/> 地域住民 <input checked="" type="checkbox"/> 大学生 <input type="checkbox"/> NPO 等関係者 <input checked="" type="checkbox"/> その他		

■ 活動の概要と目的

1 回の学習会に 1～2 名の大学生の学習支援員を配置し、多人数に対応できるようにした。基本的には、個別学習支援の形を取り、各自が行う学習に寄り添い、質問を受けたことに対応してもらい、解き方のアドバイスを示してもらいなどの支援をお願いした。一人では学習に向き合えない生徒、日頃は質問などがしにくい生徒にとって学びの場となることを目的としている。

■ 特徴的な学習支援内容

本年度は、コロナ禍の影響も有り、9 月からの実施となった。部活動のない日や定期テスト前を意識した日程調整を行い、より多くの生徒が参加しやすい期日になるように心掛けた。また、支援員を本校卒業の大学生にお願いすることで、生徒にとってより身近で親しみやすい存在になっていたと考える。

■ 参加者の募集や事業実施に当たっての工夫

参加者の募集については、全校生徒が使用する昇降口に、月ごとに実施日を掲示した。また、朝の会や帰りの会を利用して、担任より、期日の連絡と、積極的な参加を促すようしてもらった。

■ 事業の成果と課題

今年度の事業への生徒の参加状況を見ると、3 年生を中心に、昨年度よりも大幅に多くなっていた。また、昨年度は、参加者が固定していた傾向にあったが、本年度は、多くの生徒が参加できていたようである。本年度は、本事業を担当している教員の教え子が、支援員として多く協力してくれたが、毎年このような形で実施することは困難であると考えている。支援員を学校単位で確保するのは、大変に難しいことである。そこで、行政の単位で支援員の募集や登録を進めていただき、それらを上手く活用させていただく方向にしていこうと、本事業を継続させていくために、必要なことと考えている。

報告書記入者（ 教頭 ）

土曜龍王塾 ～「望み高かれ！」輝く未来に向け“志高く生きていく生徒の育成”を目指して～

竜王町	活動名： 土曜龍王塾（雲竜塾、昇竜塾）	竜王中学校	学校運営協議会： <input checked="" type="checkbox"/> 有 <input type="checkbox"/> 無
主な活動場所：	竜王中学校	開始年度：	令和2年度
年間開催日数：	23回	地域学校協働活動推進員等数：	0人（兼務0人）
平均参加人数：	78人	学習支援員等 平均人数：	10人
・学習形態	： <input type="checkbox"/> 個別の学力補充 <input checked="" type="checkbox"/> 教材を使った一斉学習 <input type="checkbox"/> その他（ ）		
・教室の持ち方	： <input checked="" type="checkbox"/> 平日放課後実施 <input checked="" type="checkbox"/> 土曜日実施 <input type="checkbox"/> 長期休業日実施 <input type="checkbox"/> その他（ ）		
・学習支援員等の属性：	<input type="checkbox"/> 企業関係者 <input type="checkbox"/> 行政職員 <input checked="" type="checkbox"/> 元教職員 <input checked="" type="checkbox"/> 地域住民 <input checked="" type="checkbox"/> 大学生 <input type="checkbox"/> NPO等関係者 <input type="checkbox"/> その他		

■ 活動の概要と目的

・中学3年生を対象に、大学生や教員OBなど、地域住民から幅広い協力を得て、放課後や長期休業中に学習を深めたい子どもの学ぶ機会として、また、家庭学習の習慣が十分に身につけていない学生への学習支援の場として事業を実施する。

■ 特徴的な学習支援内容

・雲竜塾（発展的な学習・特色選抜入試対策）と昇竜塾（基礎的基本的学力の定着）の2つのコースを実施し、生徒のニーズに合わせて生徒たちの主体的な学習を支援する内容としている。

■ 参加者の募集や事業実施に当たっての工夫（コロナ禍における工夫・対応等）

・検温・消毒を実施し、教室（会場）を分けて実施した。

■ 事業の成果

・受講生も多く、学習支援に貢献するとともに、竜中OBの大学生や教員OBなどの地域住民が講師として協力するなど、学校と地域が連携協働するきっかけの場となっている。また、参加した受講生は希望する高校に進学できる割合が増加している。

■ 事業実施上の課題と今後の学習支援活動に向けて

・受講生が増えた場合、学習教材や講師謝金などの必要な経費が増加し、予算が必要となる。また、それに見合った必要な講師数を確保し続ける必要がある。



【 教室の様子 】

報告書記入者（ 町担当者 ）

教育委員会・学校・提携塾が連携して、中学生の学力向上を図る 土曜講座（サタスタ）

多賀町	活動名： 土曜講座（サタスタ）	多賀中学校	学校運営協議会： <input type="checkbox"/> 有 <input checked="" type="checkbox"/> 無
主な活動場所：	多賀中学校	開始年度：	平成21年度
年間開催日数：	18日（開催ペース：月3日）	地域学校協働活動推進員等数：	1人
平均参加人数：	25人	学習支援員等 平均人数：	4人
・学習形態	： <input type="checkbox"/> 個別の学力補充 <input checked="" type="checkbox"/> 教材を使った一斉学習 <input type="checkbox"/> その他（ ）		
・教室の持ち方	： <input type="checkbox"/> 平日放課後実施 <input checked="" type="checkbox"/> 土曜日実施 <input type="checkbox"/> 長期休業日実施 <input type="checkbox"/> その他（ ）		
・学習支援員等の属性：	<input type="checkbox"/> 企業関係者 <input type="checkbox"/> 行政職員 <input type="checkbox"/> 元教職員 <input type="checkbox"/> 地域住民 <input checked="" type="checkbox"/> 大学生 <input type="checkbox"/> NPO等関係者 <input checked="" type="checkbox"/> その他		

■ 活動の概要と目的

・中学生の学力伸長を目的に、中学校と連携をして、希望を募り、年間18日間、土曜日の午前中に、多賀中学校を会場として開講している。

■ 特徴的な学習支援内容

・提携塾に講師派遣を依頼し、国語・数学・英語の3教科の学習を、学年別に50分間ずつ、中学校の年間計画に沿って学習をすすめている。

■ 参加者の募集や事業実施に当たっての工夫（コロナ禍における工夫・対応等）

・中学校・提携塾と調整して開講日を決め、学びやすい講座とし、宿題を伴う学習を行い、家庭学習とタイアップした効果的な学びの場とした。また毎年、町立博物館を会場として行っているが、今年度は新型コロナウイルス感染症防止対策のため、多賀中学校に変更し、換気・消毒等の徹底を行った。

■ 事業の成果

・経済的に塾に行けない子どもへの学習機会となり、保護者から大変喜ばれている。また、学校と連携した指導と効果的な個別支援により、学習に自信を付けた子ども多い。

■ 事業実施上の課題と今後の学習支援活動に向けて

・個別支援の充実を図るために、更に奨学金受給者・大学生・ボランティアの参加拡大を図り、広く募集していく。



【 土曜講座風景（2年生） 】

報告書記入者（ 町担当者 ）

学びも遊びも充実した学びっこタイム（放課後見守り）

多賀町	活動名： 放課後児童見守り （学びっこタイム）	大滝小学校	学校運営協議会： <input type="checkbox"/> 有 <input checked="" type="checkbox"/> 無
主な活動場所：	大滝小学校	開始年度：	平成 28 年度
年間開催日数：	約 60 日（開催ペース：週 2 日）	地域学校協働活動推進員等数：	1 人
平均参加人数：	16 人	学習支援員等 平均人数：	2 人
・学習形態	<input type="checkbox"/> 個別の学力補充 <input type="checkbox"/> 教材を使った一斉学習 <input checked="" type="checkbox"/> その他（宿題プリント、音読、計算カード）		
・教室のもち方	<input checked="" type="checkbox"/> 平日放課後実施 <input type="checkbox"/> 土曜日実施 <input type="checkbox"/> 長期休業日実施 <input type="checkbox"/> その他（ ）		
・学習支援員等の属性：	<input type="checkbox"/> 企業関係者 <input type="checkbox"/> 行政職員 <input checked="" type="checkbox"/> 元教職員 <input checked="" type="checkbox"/> 地域住民 <input type="checkbox"/> 大学生 <input type="checkbox"/> NPO 等関係者 <input checked="" type="checkbox"/> その他		

■ 活動の概要と目的

・低学年児童の下校時の安全確保、学習時間の確保、地域住民とのふれあいを目的に、大滝小学校と連携して、年間約 60 日間、毎週木曜日・金曜日に実施している。

■ 特徴的な学習支援内容

・木曜日は宿題のあと、みんな遊びとして、地元産の木材（端材）を使って工作やゲーム、昔遊び等を、金曜日はパソコン、英語、地域サークル等による万華鏡作りやよさこい、読み聞かせ（本に関するゲーム含む）など遊びを組み込んだ内容を毎回実施している。

■ 参加者の募集や事業実施に当たっての工夫（コロナ禍における工夫・対応等）

・参加児童は 1・2 年生全員。ボランティアは随時募集し、ローテーションにより様々な活動に関わっていただいている。また、児童には月間予定を事前に知らせ、活動に興味を持たせるようにしている。コロナ対応としては密を避ける活動内容を選定し実施。

■ 事業の成果

・児童は「今日は何をやるの？」など実施を毎回楽しみに参加しており、保護者も事業の継続を希望されている。ボランティアの方は、子どもたちと学ぶ活動・遊ぶ活動を通して楽しい時間を一緒に過ごし、子どもたちに「昔の遊びを教えたい」「毎回子どもたちと会うのが楽しみ」など良い感想を多く持たれ、児童もボランティアもほぼ欠席することなく参加されている。

■ 事業実施上の課題と今後の学習支援活動に向けて

・事業内容の充実を図るために、ボランティアの参加拡大を図る必要がある。地域住民やサークル等にも広く募集していく。
報告書記入者（ 地域コーディネーター ）



【 学びっこ風景（バランスボール） 】